

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通介護方針として、①個別ケア、②認知症ケア、③看取りケア、④地域ケアの4つのケアを大切に、地域に密着した介護改革と社会貢献を目指す。 ・自立支援への取り組みとして、隣接する農園で利用者様と一緒に野菜や果実を収穫し、下ごしらえから調理まで利用者様と一緒にするなど、生活の中で培ってきた能力を発揮する場を設け生活リハビリを行っている。 ・高速道路無料区間出入り口近くのため、離れたエリアからも短時間で移動可能。 ・自然豊かで野鳥などが生息し、住宅地から少し離れた静かな立地。
事業所名	小規模多機能あったかほ一むいしずえ	管理者	櫻井 誠		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	1人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・当日リーダーが責任を持ってミーティングを設ける。 ・支援経過が活用できていない為、気になったことは申し送りに書くようにする。 ・支援の内容変更後の対策実行経過確認作業をスタッフ研修時・スタッフ会議時に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日のリーダーが責任をもってミーティングを行えるようになった。 ・スタッフ会議の際にご利用様の支援内容変更や経過確認について話し合いを行うことができた。 		
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力。 ・コロナの状況を見ながら、エフビー農園や外食レク等外に出る機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化の為、テレビの交換、事業所入口の吊り戸の修繕があった。 狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を行った。 ・コロナ禍で外出するレクはほとんど行えなかったが、テイクアウトのお弁当をとるイベントを行ったり、農園でブルーベリー狩りや栗拾いを行ったり、コスモス街道にコスモスを見に出かけたり、初詣を行うことができた。 		
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら、地区の行事に参加していく。 ・挨拶や何気ない会話など継続していき、地域との関係性を大事にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地区の行事が中止となることが多く参加できる機会がなかった。 ・挨拶は積極的に行うことができた。 		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や包括との連携を図り、地域資源を活用しながら適切にサービス提供が行えるよう働きかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や地域包括支援センターとの連携をとり、助言をいただきながらサービス提供や支援を行った。 		
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら地域の中に出向く機会を作る。 ・今後も改善に向けて運営推進会議で事業所の課題や問題を提示し意見や助言を得て方向性を見出していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地区の行事が中止となることが多く参加できる機会がなかった。 ・コロナ禍で運営推進会議開催も2回にとどまってしまいそれ以外は書面での開催となった。地域の方からの意見で、事業所前の道について学校の登校下校時間帯やそれ以外の時間帯の運転について注意をすることができるようになった。 		
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら年2回の防災訓練を行っていく。 ・自然災害発生時の対応策を講じていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、11月に防災訓練を行うことができた。 		